

講師派遣 申込用紙

FAX:03-5220-9090

行政機関・企業等 benkyo@jili.or.jp
学校関係者 jitsugaku@jili.or.jp

申込日 年 月 日

申込団体名			ご担当者	
ご連絡先	TEL	-	FAX	-
	メールアドレス @			
ご希望日時	○第1希望 年 月 日() 時 分 ~ 時 分			
	可能であればご記入ください ○第2希望 年 月 日() 時 分 ~ 時 分			
ご希望テーマ (いずれかの口に✓)	<input type="checkbox"/> 生活設計とリスクへの備え <input type="checkbox"/> 事例から考えるリスクマネジメント <input type="checkbox"/> 自助・共助・公助について考えよう <input type="checkbox"/> 「成年」になるということ (その他:)		受講者数 (※)	_____名
ご希望の講座形式 (いずれかの口に✓)	<input type="checkbox"/> 対面講座 (直接講師を派遣し、教室・体育館・会議室等での講座) <input type="checkbox"/> オンライン講座 (Zoomなど、インターネットを使ったリアルタイムによる講座) <input type="checkbox"/> 講義を録画した動画の提供			
会場 (「対面講座」以外をご希望の場合、郵便番号・住所のみ記入)	〒 _____ 会場名() 最寄駅() 駅からの所要時間(徒歩・バス 分) 教室名など当日の訪問先()			
資料送付先 (実施会場と別の場合)	〒 _____ 送付先名()			
会場設備 (「対面講座」以外をご希望の場合、記入不要)	・使用できる設備 (該当する口に✓) <input type="checkbox"/> マイク <input type="checkbox"/> 黒板・ホワイトボード <input type="checkbox"/> プロジェクター <input type="checkbox"/> PPT投影用パソコン ・講義用レジュメデータ受渡方法: <input type="checkbox"/> メール送付 <input type="checkbox"/> 講師がUSBで持参			
認知経路	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> ダイレクトメール(郵送・宅配) <input type="checkbox"/> 電子メール <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> ご紹介(ご紹介者様) <input type="checkbox"/> その他()			
申込実績	<input type="checkbox"/> 初めて <input type="checkbox"/> 前年度より継続しての申込 <input type="checkbox"/> 過去に申込したことがある			
その他 ご要望など				

※受講者数は原則、以下のとおりお願いします。
消費者向け…20名以上、職員・従業員向け…10名以上、消費生活相談員・金融広報アドバイザー向け、教員向け(中学校・高等学校)…5名以上

【学校関係者の方のみご記入ください】

受講者内訳	1年生:約____名	2年生:約____名	3年生:約____名	4年生:約____名
ご担当 科目・学部等	<input type="checkbox"/> 家庭科 <input type="checkbox"/> 社会科・公民科 <input type="checkbox"/> 国語科 <input type="checkbox"/> 総合学習の時間 <input type="checkbox"/> その他()			
	<input type="checkbox"/> 学部名:() 科目名:() <input type="checkbox"/> その他()			

※テーマ、日程等によってはご希望にそえない場合があります。
※ご記入いただきました内容は、学習会等実施の際の連絡、資料等の送付および講師派遣のご案内に利用させていただきます。

※お申し込み後、一週間以内に生命保険文化センターよりご連絡させていただきます。
一週間経過後も連絡がない場合は、お手数ですが「03-5220-8517」講師派遣担当までご連絡ください。

(センター記入欄)

講義種類	コード(実績年)	仮登録日(登録者)	連絡日(手段/連絡者)	本登録日(登録者)
実学・学習会()	E ()	(/)	(メール・電話/)	(/)

220022

【2021年1月改訂】
SK2022

高校向け

新学習指導要領や成年年齢引き下げを意識した学習にぜひご活用ください。

無償

「社会保障制度」や「生命保険」 が学べる講師派遣・副教材 を利用しませんか？

Zoom等を活用したリアルタイムのオンライン講座や、講義を録画した動画を提供するオンデマンド講座にも対応しています。



○公益財団法人 生命保険文化センター

公正・中立な立場で生活設計や生命保険に関する情報提供等を行うことを目的に、1976年(昭和51年)に設立。「消費者啓発・情報提供活動」「学術振興事業」「調査活動」の事業を3つの柱に、中学校・高校・大学等への講師派遣、一般消費者や消費生活相談員等対象の学習会の実施、学校教育用副教材や消費者向け小冊子の作成、生活保障に関する意識や生命保険の加入実態等を探る調査活動を行っています。

お申込み方法

申込用紙をFAX(03-5220-9090)ください。
当センターHPからの申込も可能です。



お問い合わせ先

公益財団法人 生命保険文化センター 生活情報室 講師派遣担当
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル3階
TEL:03-5220-8517 E-mail:jitsugaku@jili.or.jp



「講師派遣」の詳細については、右記当センターHPをご参照ください。

公益財団法人 生命保険文化センター

※当センターにて実施している本活動における案内業務については、生命保険協会地方事務局長に一部委託しております。

① 「教員向け」研修会等への講師派遣

- 各教科の研究会にて定期的実施している研修会や勉強会、また総会等で先生方がお集まりになる機会にご活用いただいております。
- 講師派遣(オンライン・オンデマンド可)は全国どこでも可能、費用のご負担は一切不要です。
- 日程や開催時間等、可能な限りご要望にお応えさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

家庭科・公民科 等

講座内容例 [60~120分]

① 「副教材の活用方法」が学べます。

当センターで作成している冊子やプレゼンテーション用の副教材を活用して、「生活設計やリスク管理」「自助・共助・公助」「社会保障制度や生命保険」等について、限られた授業時間の中でどのように触れたら良いのか、当センター職員がわかりやすく解説させていただきます。



② 「社会保険」「生命保険」に関する基礎知識が学べます。

当センターで作成している小冊子を活用して、「社会保障制度」や「生命保険」の基礎的な内容について、当センター職員がわかりやすく解説させていただきます。

公的年金、健康保険、公的介護保険制度等、社会保険の制度改正に関する最新情報や、生命保険の仕組みや活用事例等、授業で利用できる基礎知識を提供させていただきます。



参考

本講師派遣の内容が関連する2022年度から年次進行で実施されている「新学習指導要領」記載部分について

高校・家庭科(家庭基礎)

家庭科「高等学校学習指導要領」には、『家計の構造や生活における経済と社会との関わり、**家計管理**について理解すること。』と記載されています。

また、解説には、『**家計管理については、収支バランスの重要性とともに、リスク管理も踏まえた家計管理の基本について理解できるようにする。**その際、生涯を見通した経済計画を立てるには、教育資金、住宅取得、老後の備えの他にも、**事故や病気、失業などリスクへの対応が必要であることを取り上げ、預貯金、民間保険、株式、債券、投資信託等の基本的な金融商品の特徴(メリット、デメリット)、資産形成の視点にも触れるようにする。**』と記載されています。

高校・公民科(公共)

公民科「高等学校学習指導要領」には、『職業選択、雇用と労働問題、財政および租税の役割、**少子高齢社会における社会保障の充実・安定化**、市場経済の機能と限界、**金融の働き**、(途中省略)などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること、(途中省略)について理解すること』と記載されています。

また、解説には、『**貯蓄や民間保険などにも触れ、自助、共助及び公助が最も適切に組み合わせられるようにするにはどうすればよいか多面的・多角的に考察、構想し、表現できるようにすることが考えられる。**』と記載されています。

② 「生徒向け」出前講座としての講師派遣

- ご担当されている授業の1コマ(50分程度)をお借りして講座を実施します。
- クラス単位の複数回の実施や、50分の授業を2コマ連続で行うことも可能です。
- 講師派遣(オンライン・オンデマンド可)は全国どこでも可能、費用のご負担は一切不要です。
- 講座の内容に沿った生徒用ワークシートをご用意しております。



家庭科

講座内容例 [50分]

家庭科向けには以下2つのテーマをご用意しています。

テーマ①「生活設計とリスクへの備え」

将来の**ライフイベント(結婚や教育等)**でかかるお金を**クイズ形式**で考えるとともに、身の回りのリスクに備える方法として、社会保険や預貯金・民間保険について学ぶことができます。

テーマ②「事例から考えるリスクマネジメント」

イラストを使った事例を用いて、実際にリスクが起きた場面を想像しながら、どんな備えが必要か自らの考えをまとめ、身の回りのリスクに備える方法として、社会保険や預貯金・民間保険について学ぶことができます。

【50分×2コマの場合】

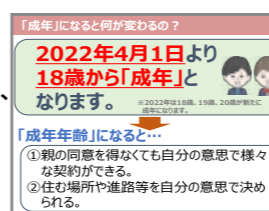
上記、**家庭科向けテーマ①「生活設計とリスクへの備え」とあわせて**、当センター作成の生徒用ワークブック「君とみらいとライフプラン」を使い、ライフプラン表を作成する作業(アクティブ・ラーニング)を実施することも可能。

全科目共通

講座内容例 [50分]

テーマ「「成年」になるということ」

成年年齢引き下げにより可能となる契約を切り口に、クレジットカードといったキャッシュレス等、お金を使う際の収入と支出のバランスや生活におけるリスク管理、契約に関わるトラブルやクーリングオフといった対処策等について学ぶことができます。

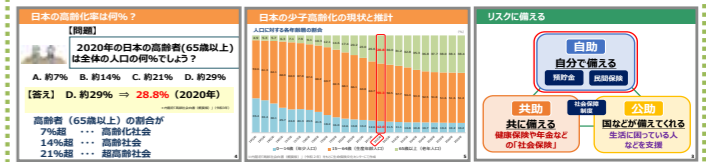


公民科

講座内容例 [50分]

テーマ「自助・共助・公助について考えよう」

日本の少子高齢化の現状を理解するとともに、社会保障制度の概要について学ぶことができます。また、社会保障制度を維持するために、社会における**「自助・共助・公助」の適切な組み合わせ**について自らの考えをまとめることにより、社会保険や自助の手段である預貯金や民間保険について、理解を深めることができます。



<2021年度 学生・生徒対象 講師派遣実績>

実施回数	受講者数
557回	27,575名

受講実績と受講者アンケート結果についてはこちら



※2022.3.18現在 実施予定含む

③ 副教材について

プレゼン用定型レジュメ

講師派遣でも利用している**プレゼン用定型レジュメ・生徒用ワークシート**は、当センターHPにてご覧いただけます。編集可能な状態で無料でダウンロードが可能です。**授業展開案**もありますので、ぜひ授業にてご活用ください。



冊子

<生活設計に使えるワーク&データ集> 「君とみらいとライフプラン」

生活設計に使えるワーク&データ集です。**ライフプラン表とシールが付属**。ライフプラン表は切り取りができて、課題にも最適です。教員用手引書も用意しています。

「君とみらいとライフプラン」の申込等、詳細についてはこちらを参照ください。

